

JIS

粗銅地金－サンプリング方法 及び水分測定方法

JIS M 8102-1993

(2008 確認)

平成 5 年 6 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

資源エネルギー部会 鉱石類サンプリング方法専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	今 泉 益 正	武蔵工業大学工学部
	横 山 隆 壽	財団法人電力中央研究所
	家 村 一 行	社団法人日本海事検定協会
	青 木 茂 雄	財団法人日本科学技術連盟
	野 口 順 路	財団法人日本科学技術連盟
	小野寺 次 郎	財団法人石炭技術研究所第2研究部
	吹 上 滋	日本検査株式会社営業部
	平 本 克 房	海外貨物検査株式会社金属鉱産部
	青 柳 桂 一	通商産業省基礎産業局
	増 田 聡 博	資源エネルギー庁長官官房
	服 部 幹 雄	工業技術院標準部
	中 村 靖	株式会社日鉱共石総合技術本部
	佐 山 恭 正	三菱マテリアル株式会社中央研究所
	長 野 研 一	新日本製鐵株式会社燃料部・鉱石部
	高 畑 謙 治	日本鋼管株式会社新材料事業部フェロアロイ営業部
	今 野 尚 雄	日本フェロアロイ協会技術部
	大 坪 孝 至	社団法人日本鉄鋼連盟
	児 玉 達 朗	住金コスモフランス株式会社大阪事務所
	古 川 篤 郎	三菱商事株式会社鉄鉱石部
	黒 岩 康 多	三井物産株式会社鉄鋼原料部門原料業務室
(事務局)	宮 本 幸 夫	工業技術院標準部材料規格課
	小 嶋 誠	工業技術院標準部材料規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和27.6.21 改正：平成5.6.1

官 報 公 示：平成5.6.14

原案作成協力者：財団法人 日本科学技術連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会 (部会長 福原 元一)

審 議 専 門 委 員 会：鉱石類サンプリング方法専門委員会 (委員長 今泉 益正)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

粗銅地金—サンプリング方法 M 8102-1993 及び水分測定方法

Blister copper—Methods for sampling and determination of moisture content

1. 適用範囲 この規格は、粗銅地金（以下、地金という。）について、ロットの成分及び水分の平均値を決定するための次の方法について規定する。

- (1) 試料を採取する方法
- (2) 成分試験試料を調製する方法
- (3) 水分測定方法
- (4) 乾量決定方法

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS M 8100 粉塊混合物—サンプリング方法通則

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8801 標準ふるい

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) ロット 成分及び水分の平均値を決定するために受渡当事者間で取り決めた質量の地金。
- (2) インクリメント 抜き取った地金から1回のボーリングで採取した切粉。
- (3) 大口試料 ロットから採取したインクリメントの全部を集めた試料。
- (4) 成分試験試料 成分分析に供する試料。
- (5) 水分試験試料 ロットからその水分測定のために抜き取った地金。

3. 記号 この規格で用いる記号は、次による。

\bar{x} : 成分の分析値の算術平均

m : 抜き取った地金の枚数

n_w : 抜き取った地金の1枚から採取するインクリメントの数

$\sigma_{\bar{x}}$: 総合精度を標準偏差で表したもの

σ_b : 地金間のばらつきを標準偏差で表したもの

σ_w : 地金内のインクリメント間のばらつきを標準偏差で表したもの

K_1 : 地金1枚を抜き取るのに要する費用

K_2 : インクリメント1個を採取するのに要する費用

M : 水分

4. 一般事項

4.1 サンプリング及び試料調製の概要 サンプリング及び試料調製の概要は、次による（図1参照）。